

丘珠空港機能強化に関する PI 最終とりまとめ (概要版)

1. PI の実施状況

空港整備主体(北海道開発局、東京航空局)は、丘珠空港滑走路延長に係る具体的な整備計画の策定に向けて計画検討に着手するとともに、関係地方公共団体等(北海道、札幌市、北海道防衛局、北部方面総監部)と連携・協力して「丘珠空港PI推進協議会」を設置し、滑走路延長について地域住民・空港利用者等の皆様から幅広く意見を伺いながら合意形成を図るパブリック・インボルブメント(PI)を実施いたしました。

(1)作成した資料等

PI 活動実施にあたり、特設ウェブサイト、ハガキ付きチラシ、ポスター等を作成しました。



チラシ付きハガキ



ポスター

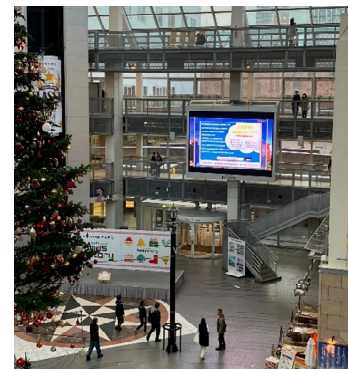


機能強化計画書

(2)周知・広報

各種メディアにおいてPI 活動を紹介しました。

北海道開発局公式 X、札幌丘珠空港公式 X、札幌市公式 Instagram、
広報さっぽろ、街頭ビジョン、テレビ・新聞 など



街頭ビジョン等での周知・広報

(3) 情報提供・意見聴取

住民説明会やパネル展を通じて、丘珠空港機能強化計画の情報提供を行いました。

① 住民説明会(教室型)

札幌市内の空港周辺9地区において、地域住民を対象とした説明会を実施し、195名に来場いただきました。



住民説明会の様子(丘珠会場)

② 住民説明会(オープンハウス型)

丘珠空港ターミナルビル2階において実施(約2ヶ月間)し、1,143名に来場いただきました。札幌駅地下歩行空間(チ・カ・ホ)において実施(3日間)し、1,104名に来場いただきました。



丘珠空港ターミナルビル2階

札幌駅地下歩行空間(チ・カ・ホ)

③ 意見聴取実績

意見フォーム、ハガキ、付箋によりご回答いただきました。

意見フォーム(特設ウェブサイト) 817件

ハガキ 358通

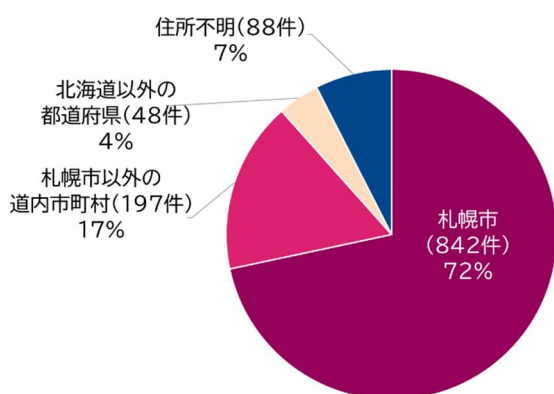
付箋(住民説明会(教室型)のみ) 319枚

2. 意見聴取結果の集計・分析

(1) 選択式回答

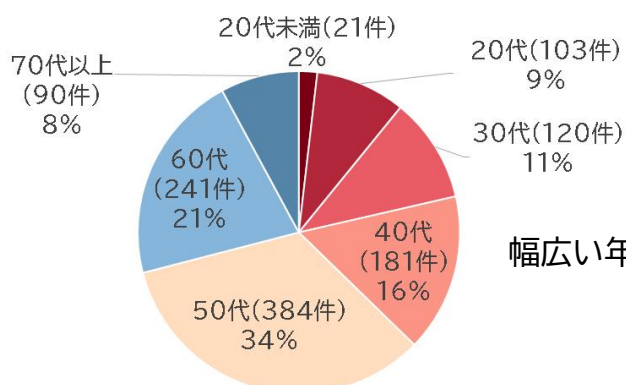
意見フォーム及びハガキによる回答(1,175件)について分析しました。

① 回答者属性



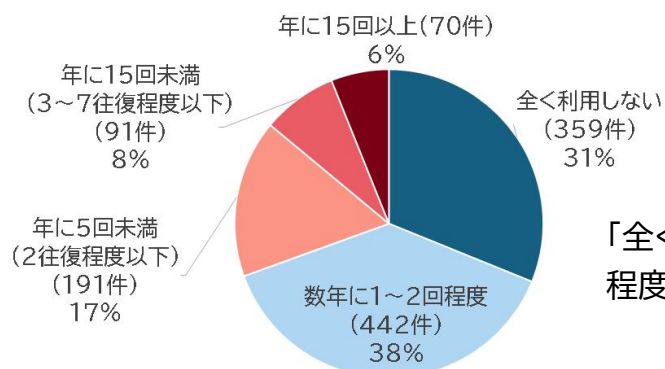
札幌市内を中心に幅広いエリアからご回答いただきました。

エリア分布



幅広い年齢層からご回答いただきました。

年代構成

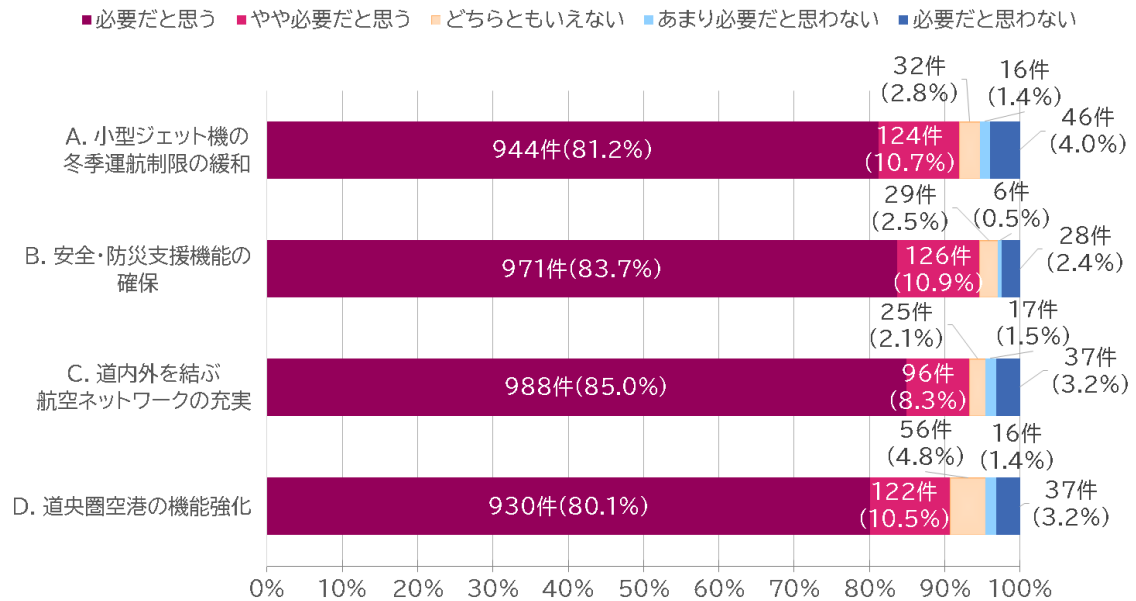


「全く利用しない方」「数年に1, 2回程度の方」が約7割を占めました。

利用頻度

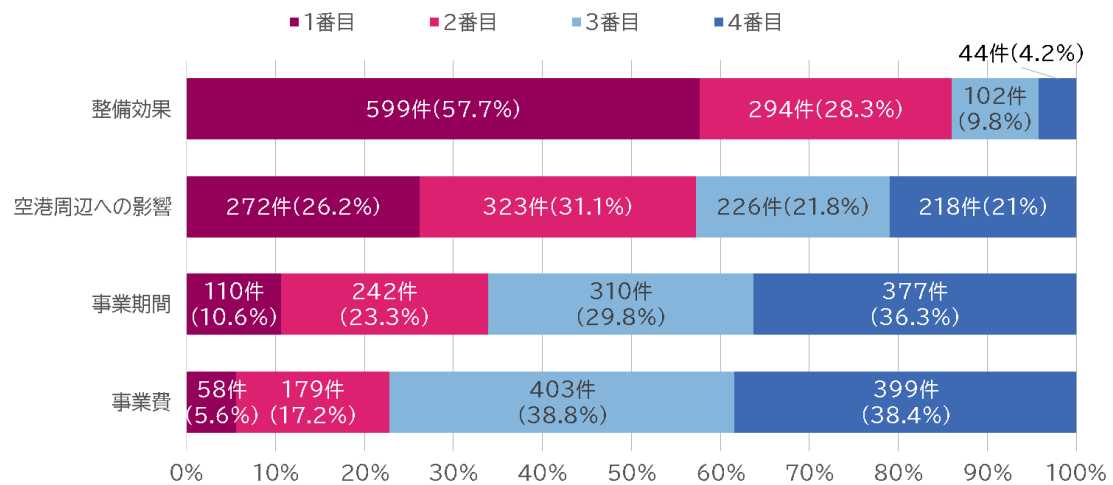
②機能強化の必要性について

丘珠空港が抱える4つの課題(「小型ジェット機等の冬季運航制限の緩和」「安全・防災支援機能の確保」「道内外を結ぶ航空ネットワークの充実」「道央圏空港の機能強化」)について、約9割の方から改善が必要である旨のご回答をいただきました。



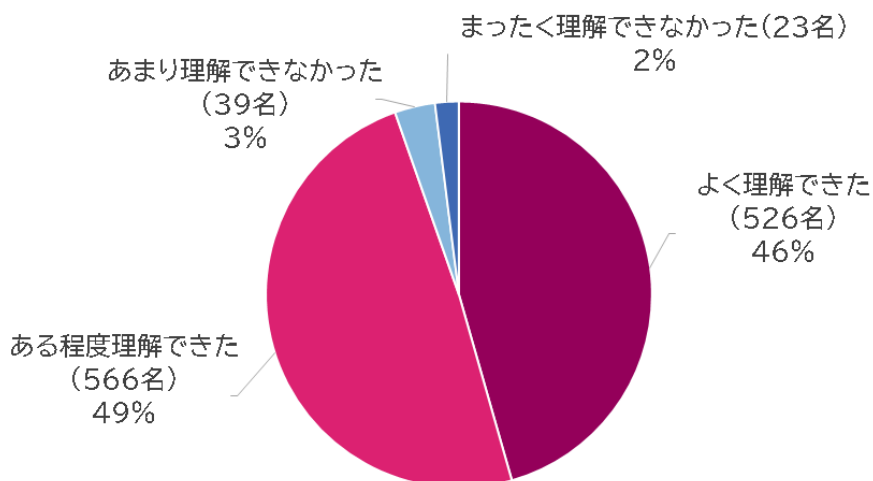
③滑走路延長案を評価する際に重視する項目

評価する際の優先順位を聞いたところ、「整備効果」「空港周辺への影響」「事業期間」「事業費」の順となりました。



④機能強化計画書の記載内容理解度について

記載内容の理解度について確認したところ、「よく理解できた」「ある程度理解できた」とご回答いただいた割合が約9割となりました。



(2)自由記述式回答

意見フォーム、ハガキの自由記述欄、住民説明会(教室型)で収集した付箋に寄せられた意見を集計し、PI推進協議会の考えを以下に示します。

ご意見	協議会の考え方
<ul style="list-style-type: none"> 滑走路延長は不要である。 人口減少や北海道新幹線の延伸を考えると、不要ではないか。 	「小型ジェット機の冬季運航制限の緩和」「安全・防災支援機能の確保」「道内外を結ぶ航空路ネットワークの拡充」「道央圏空港の機能強化」といった丘珠空港が現在抱える諸課題を解決するためには、滑走路延長が必要であると考えます。
<ul style="list-style-type: none"> 新千歳空港を機能強化すれば良いので丘珠空港の機能強化は不要である。 丘珠空港と新千歳空港の2つの空港をどう使い分けていくのか。 	新千歳空港は、昼前後の時間帯を中心に混雑や遅延が発生しやすい状況です。小型機が就航している路線を丘珠空港へ振り替えることで、新千歳空港の発着枠を有効活用することが可能となります。
<ul style="list-style-type: none"> 2,000m にしないのか。 大型機は就航しないのか。 	小型ジェット機が冬季も安全に離発着するためには、1,800m以上の滑走路長が必要です。一方でこれ以上の滑走路長では、事業費が大幅に増加することから、丘珠空港が抱える課題を解決するための最小限の投資として1,800mの滑走路長を検討することと致しました。

ご意見	協議会の考え方
航空機騒音を減らしてほしい。	滑走路の延長及び冬季運航制限の緩和により、航空機騒音の影響範囲が広がると想定されるのですが、引き続き航空機騒音に係る環境基準値の範囲内での運用となるよう配慮してまいります。なお、札幌市環境影響評価条例に基づいた環境アセスメントにおいて航空機騒音の調査・予測・評価を行い、必要に応じて騒音軽減を図る措置を検討いたします。
<ul style="list-style-type: none"> ・案1が良い。 ・案2が良い。 	滑走路延長計画案に対する皆様からのご意見等を踏まえ、引き続き検討を進めてまいります。

3. PI の目標達成判断

PI 実施にあたり、目標達成状況を判断する指標として4つの評価指標を設定いたしました。

4つの視点

- ①PIは適切に実施されたか
- ②提供した情報は適切に周知されたか
- ③PI対象者はPI推進協議会が提供した情報を理解したか
- ④募集した意見に対してPI推進協議会の考え方は示されているか

PI 推進協議会は、上記4つの視点で PI の目標達成状況を評価したところ、4ついずれの視点においても目標は達成されていると判断しました。